

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

京都観世会一月例会

令和5年1月8日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

翁

〔能〕

片山九郎右衛門

高

〔能〕

河村晴久

砂

隠

〔狂言〕

茂山七五三

笠

小

〔能〕

観世清和

塩

金

〔能〕

大江広祐

札



会場 京都観世会館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み
☎ 075-771-6114
<http://www.kyoto-kanze.jp>
WEBサイトの公演情報からご予約ができます。



本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策に取り組み開催致します。
前売券は12月1日(木)より発売致します。
◆WEBで指定席が購入できます◆

一般前売指定席券 (1階) 8,000円 ※webにて販売
一般前売自由席券 6,000円
一般当日券 (自由席) 6,500円
学生券 (2階自由席) 3,000円
※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

京都観世会館案内図



東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

- ◆京都観世会館へは
- JR京都駅から —
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
徒歩約3分 (乗車時間約30分)
- 市バス[86][206]で「東山仁王門」下車
徒歩約5分 (乗車時間約30分)
- 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて東西線に乗り換え
「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急京都河原町駅から —
- 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車
徒歩約5分 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から —
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
徒歩約3分 (乗車時間約7分)
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- JR二条駅から —
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から —
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から —
- ①番出口から徒歩約5分

京都観世会二月例会

翁

片山九郎右衛門
 面箱 山本善之
 三番三 茂山忠三郎
 千歳 青木真由人

高砂

姥河村和貴
 住吉明神 尉河村晴久 従者 岡 充
 大鼓 河村凜太郎
 神主 友成 有松 遼一 脇鼓 吉阪倫平
 大鼓 井上 敬介
 従者 原 陸 頭取 吉阪一朗
 笛 森田 保美
 間 所ノ者 山下守之 脇鼓 上田 敦史

隠笠

果報者 茂山七五三
 太郎冠者 茂山 茂
 すっぱ 松本 薫

(二時十分頃)

休憩二十分

小塩

在原業平 尉観世清和
 花見人 福王 知登
 同行者 中村 宜成
 間 里人 茂山 逸平

休憩十五分

田 村キリ 杉浦豊彦
 女クセ 大江又三郎

金札

天太玉命 大江 広祐
 勅使 原 大 陸
 大鼓 石井 景之 太鼓 前川 光範
 小鼓 曾和 鼓堂 笛 左 鴻 泰 弘

後見・地謡

味方 團 樹下千慧
 青木道喜 梅田嘉宏
 松野浩行 浦田保浩
 吉田篤史 大江又三郎
 河村晴道

山口耕道
 小斉平貞路

井口竜也

林 宗一郎 河村浩太郎
 井上裕久 大江泰正
 橋本忠樹 古橋正邦
 橋本光史 片山九郎右衛門
 味方 玄

寺澤拓海
 越賀隆之
 橋本雅夫
 田茂井廣道

大江信行 河村和晃
 杉浦豊彦 宮本茂樹
 深野貴彦 河村博重
 田茂井廣道 片山伸吾
 浦田保親

解説

翁ある曲の中で別格とされる「翁」は、能が芸能として整う以前の相型であり、新年を言祝ぐに最も相応しい神事である。舞台上に登場するのは神体の翁面を運ぶ面箱持、それから直面の翁大夫、千歳、三番三、以下諸役が続く。

翁大夫は正先に出て深々と一礼し、箱座前に座し、面箱が前に置かれるととうとう「たらし……」と謡い出す。露肌舞の千歳が颯爽とした「千歳ノ舞」を舞う間に白式尉の面を着けた翁大夫は「坐して居たれども」と謡い、大小前に立って「天拝」「地拝」をし、祝祷の謡の後に狂言の「翁ノ舞」を舞い始める。三節の各節に「天・地・人」の足拍子を踏み、舞台を一巡すると再び「萬歳樂」と天拝して舞い納める。面を外して面箱に置き、一礼して大夫は千歳と共に幕入りする。

続いて狂言方の三番三が走り出て、まず直面で力強い「採り段」を舞う。その後「後見座」で黒式尉の面を著けると、面箱持との問答を経て鈴を受取り、「鈴ノ段」に納る。呪術的な舞は最高潮に達したところで終止符が打たれ、舞台は元の張り詰めた静寂に包まれる。面を外した三番三と面箱持、後見、脇鼓が退場し、地謡が後座から地謡座へ移動し、次の脇能が始まる。

高砂

九州の阿蘇の神主・友成が京に上る途中、播州高砂の浦に立ち寄る。老人夫婦に高砂に住吉相生の松の謂われを尋ねると、老人は高砂を「万葉集」に住吉を「古今集」にたとえ、松の寿命が長いことから和歌の道の繁栄を壽き、和歌の繁栄が平和の象徴であることを教える。松の功徳を語るうち、老夫婦は実は相生の松の精であると明かし、先に住吉に舟きお持ちしようと言って、舟に乗って沖へ出て行ってしまふ。友成が住吉に着くと、和歌の神・住吉明神が現れて泰平の御代を祝福するのだった。

小塩

京都下京あたりに住む男が、若い人達を連れて大原山へ花見に出かけた。この山は一名小塩山とも呼ばれ桜の名所である。と一人の老人が桜の花の枝を頭にかざし「年経れば齢は老いぬ然はあれど、花をし見ればもの思ひもなし」といかにもはなやいだ風情でやってくる。男が老人に声をかけて、老人は自分の姿が埋木のようにだとしても心まで朽ち果てているわけではないと語り、桜の花に彩られた大原山の景色を賛美し、神代的事さえ想像出来ると話す。男が「大原や小塩の山もけふこそは神代の事も思ひ出す。」

お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆《翁》が始まりましたら、一階見所へのお出入りをご遠慮いただきます。
- ◆許可なき写真撮影・録音録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【表紙写真】

片山幽雪
 金の星渡辺写真場撮影

次回予告

京都観世会二月例会
 令和5年2月26日(日)
 午前11時開演

(能) 弱法師

盲目之舞 杉浦 豊彦

(狂言) 伊文字

茂山 千之丞

(番囃子) 百萬

梅若 桜雪

(能) 鞍馬天狗

橋本 雅夫

白頭 素働

【お知らせ】
 。当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的に清掃・消毒を行っております。
 。「検温」「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。
 。発熱・咳など風邪症状のある場合は、ご来館前に医療機関にご相談ください。
 。「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。
 今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容変更または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

(終了予定 四時四十五分頃)